労働安全衛生速報

2026年 9月 1日号

(1/2)

各労働局長登録教習機関
〔 北海道・岩手・宮城・福島・東京・神奈川・大阪・福岡 〕

企画/編集 安全教育センター

TEL.0120-031404(ゼロ災でヨーシ) FAX.0120-457140(事故ないよー)
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目10-11 勾当台上杉通りﾋﾞﾙ
TEL.022(267)4207 FAX.022(267)4285
info@anzen-pro.com https://www.anzen-pro.com/
※当センターの許可なく、改変、編集、営利目的の転売を禁じます

全国労働衛生週間

本週間〔10月１日～10月７日〕 実効を上げるための準備期間〔９月1日～９月30日〕

労働者の健康管理や職場環境の改善等の労働衛生に関する国民の意識を高めるとともに、
職場での自主的な活動を促して労働者の健康の確保等を図る

「ひとりひとりが貴重な人材 心も体も健やかに みんな生き生き健康職場」

〔略式命令〕 掘削作業の際、崩壊を防止する措置を講じずに死亡させた

2026.7.2

2025年3月、富山県南砺市の工事現場で、未舗装の地盤を点検せず崩壊防止措置などを講じなかった結果、掘削した溝が崩れて男性作業員(当時30歳代)が生き埋めになり死亡した。砺波簡裁は建設会社に罰金20万円、男性現場代理人(60歳代)に罰金40万円の略式命令を出した。県は8日、1か月間指名停止にした。

〔墜落・転落〕 クーラー設置作業時にアパート4階 高さ12mから墜落

2026.7.8

13時15分ごろ、沖縄県那覇市のアパート4階のベランダで、男性作業員(23歳)がルームエアコンの設置作業をしていて墜落した。打撲などのけがを負い病院に搬送された。何らかの原因で高さ約12mのベランダから駐車場の車に落下し、地面に墜落したとみられる。

〔墜落・転落〕 橋の工事で墜落し意識不明

2026.7.13

11時20分ごろ、沖縄県本部町の橋の工事現場で、男性作業員(44歳)が高さ約10mの作業構台から墜落した。頭部の外傷などのけがを負い、意識がない状態で病院に搬送された。詳しい事故原因について調査中。

〔激突され〕 伐採中の木倒れ男性作業員が死亡

2026.7.14

13時30分ごろ、福島県いわき市の山林で、林業の男性作業員(57歳)が、杉の木の伐採作業中に伐採して倒れてきた木にぶつかって死亡した。複数人で伐採作業中、倒れてきた木で頭を強く打った。詳しい原因は調査中。

〔挟まれ・巻き込まれ〕 100kgの鉄製かごとローラーの間に頭挟まれ死亡

2026.7.14

17時40分ごろ、滋賀県長浜市の金属加工工場内で、男性作業員(31歳)がクレーンにつるされた鉄製かごと作業用ローラーの間に頭を挟まれ、搬送先の病院で死亡が確認された。ボルトが入った約100kgのかごを自動のクレーンで運び、作業用ローラーに降ろす作業の途中で挟まれた。ヘルメットを着用していなかった。

労働安全衛生速報

2026年 9月 1日号 (2/2)

各労働局長登録教習機関
〔 北海道・岩手・宮城・福島・東京・神奈川・大阪・福岡 〕

企画/編集 安全教育センター

TEL.0120-031404(ゼロ災でヨーシ) FAX.0120-457140(事故ないよー)
〒980-0012 仙台市青葉区錦町1丁目10-11 勾当台上杉通りﾋﾞﾙ
TEL.022(267)4207 FAX.022(267)4285
info@anzen-pro.com https://www.anzen-pro.com/

※当センターの許可なく、改変、編集、営利目的の転売を禁じます

〔労災隠し〕 橋梁建設工事で骨折の労働災害を報告しなかったなどの疑い

2026.7.14

2024年6月、鹿児島県霧島市の橋梁の建設工事で、クレーンから型枠材(15kg×8枚、高さ7～8m)が落下して、二次下請け会社の作業員に当たり、圧迫骨折などで44日間休業した。2次下請け会社とその代表取締役、1次下請け会社の代表取締役が労働者死傷病報告をしなかった疑い、また元請会社と作業所長が、3か月ごとに提出する統括管理状況報告書に事故を記載せず、労働基準監督署が2025年4月にて定期立入りした際に労災件数を少なく答えた疑い。加治木労働基準監督署は、元請会社と作業所長、下請け会社の代表取締役ら、2法人3人を地検加治木支部に書類送検した。

〔墜落・転落〕 屋根から墜落し腰骨骨折

2026.7.15

11時35分ごろ、山形県山形市の住宅新築工事現場で、男性作業員(71歳)が1階屋根部分から墜落し、腰の骨を折る大けがをした。8時ごろから4人で作業していた。屋根に上り、垂木を設置していた際、3.5m下の砂利の地面に墜落した。墜落制止用器具は着用していなかったとみられる。

〔熱中症〕 道路維持工事の除草作業中に熱中症で死亡

2026.7.15

京都府京丹波町の国道で、男性作業員(70歳代)が熱中症で死亡した。国道維持工事の除草作業中に体調不良となり、搬送先の病院で死亡が確認された。男性は2次下請け会社所属の作業員。

〔書類送検〕 墜落防止措置を講じなかった疑い

2026.7.15

4月9日、新潟県上越市の架線工事現場で、派遣作業員(44歳)が作業中に墜落して死亡した。上越労働基準監督署は、墜落防止措置を講じなかった疑いで、建設会社と男性責任者(50歳代)を新潟地検高田支部に書類送検した。

〔墜落・転落〕 新築現場で足場から墜落し死亡

2026.7.16

8時50分ごろ、埼玉県羽生市の新築工事現場で、自営業の男性作業員(77歳)が足場から墜落、外傷性ショックで搬送先の病院で死亡が確認された。高さ約7.3mの足場で作業、ヘルメットは使用していたが、墜落制止用器具は使用していなかった。詳しい原因は調査中。

〔墜落・転落〕 解体作業中足場の撤去時に墜落して骨折

2026.7.21

13時50分ごろ、富山県高岡市の施設解体工事現場で、足場の撤去作業をしていた男性作業員(45歳)が約5.3mの高さから墜落した。腰椎やあばらなどを骨折する重傷を負い病院に搬送された。ヘルメットと墜落制止用器具は着用していた。